

～ 台日沖縄国際交流大学サッカー大会 2015 ～

2015年3月8日～13日

《 報 告 書 》



ご協賛・ご協力・ご後援 ありがとうございます。

～ 台日沖縄国際交流大学サッカー大会 2015 ～

【開催日】：2015年3月8日～13日

【会場】：沖縄国際大学グラウンド

【参加団体】：国立台湾体育運動大学（招聘大学）、沖縄国際大学、名桜大学、琉球大学、沖縄大学

【主催】：一般社団法人 沖縄県サッカー協会

特定非営利活動法人 ナインプロモーション沖縄

【特別協賛】：シンバネットワーク

【協賛】：株式会社新垣通商 / 琉球海運株式会社 / 株式会社ダイニング / 有限会社 太陽旅行社 / エイム
 プランニング / ゼビオ株式会社 スーパースポーツゼビオ宜野湾店 / 株式会社 テンポンドジャパン /
 有限会社ヤマウチ設備 / 東洋ワークセキュリティ沖縄株式会社 / 株式会社キユナ 燃料事業部 /
 宜野湾市管工事協同組合 / 株式会社 佐久本工機 / 株式会社東亜旅行社 / 有限会社サニマイト /
 有限会社長堂材木店 / 株式会社国場建機 / 株式会社安謝鋳物商事 / 一般社団法人宜野湾市はごろ
 も緑花会 / 株式会社沖縄ゼネラルサービス / 株式会社沖縄環境分析センター / 旬鮮 一歩 / 株
 式会社三和工業 / 有限会社石川保安商会 / 株式会社琉球伊奈 / 那覇鋼材株式会社 / 株式会社琉
 信管材商事 / 株式会社川橋建設 / プラン・ドゥ・ハプンスタンス株式会社 / PLUS NINE

【後援】：台北駐日経済文化代表處那覇分處 / 沖縄県 / 沖縄観光コンベンションビューロー / 宜野湾市 /
 宜野湾市教育委員会 / 宜野湾市商工会 / 沖縄台湾交流振興会 / 琉球台湾商工協会 / 琉球華僑総会/
 沖縄タイムス社 / 琉球新報社 / 琉球放送 / 沖縄テレビ / 琉球朝日放送 / NHK沖縄放送局 /
 FM沖縄 / ラジオ沖縄、

【協力】：オリオンビール株式会社 / 株式会社琉鳳堂

【運営協力】：総合型スポーツクラブサンビスカス沖縄

【参加人数】：約200名（国立台湾体育運動大学：約25名、沖縄4校大学；約150名、その他）

【詳細日程】：2015年3月8日～13日（移動、①②を含む全日程）

<招待チームスケジュール>

8日 移動日 招聘大学 那覇国際空港到着、午後；観光・練習

9日～11日 ①交流大会 ※学生交流会（9日予定）・代表者交流会（10日予定）

12日 ②文化研修

13日 移動日 招聘大学 那覇国際空港発

■開会式■

9日（月）	8:45	開会式	（1）開会のあいさつ	一般社団法人 沖縄県サッカー協会 会長 具志堅朗様
			（2）歓迎のあいさつ	台北駐日経済文化代表處那覇分處 處長 蘇啓誠様 沖縄県サッカー協会大学サッカー連盟 顧問 島袋啓順様
			（3）協賛企業挨拶	シンバホールディングス株式会社 代表取締役会長 安里繁信様
			（4）大会運営・日程説明	NPO 法人ナインプロモーション沖縄 代表理事 宮城亮
			（5）記念撮影	選手・関係者全員

■試合スケジュール■

				主審	副審・本部運営
9 日 (月)	10:00	第一試合	沖縄国際大学 vs 琉球大学	県協会	名桜大学
	12:00	第二試合	国立台湾体育運動大学 vs 名桜大学	県協会	沖縄国際大学
	14:00	第三試合	沖縄国際大学 vs 沖縄大学	県協会	名桜大学
10 日 (火)	9:00	第一試合	国立台湾体育運動大学 vs 沖縄大学	県協会	琉球大学
	11:00	第二試合	沖縄国際大学 vs 名桜大学	県協会	琉球大学
	13:00	第三試合	国立台湾体育運動大学 vs 琉球大学	県協会	沖縄国際大学
	15:00	第四試合	沖縄大学 vs 名桜大学	県協会	琉球大学
11 日 (水)	9:00	第一試合	沖縄大学 vs 琉球大学	県協会	沖縄国際大学
	11:00	第二試合	国立台湾体育運動大学 vs 沖縄国際大学	県協会	沖縄大学
	13:00	第三試合	名桜大学 vs 琉球大学	県協会	沖縄大学

■大学生交流会 場所：沖縄国際大学 5号館 2F 208室■

9 日 (月) 17:00～18:30 国立台湾体育運動大学・沖縄国際大学・沖縄大学・琉球大学・名桜大学 ※県大学は、各5名ずつ。

■閉会式■

11 日 (水) 15:15 閉会式

(1) 総評	一般社団法人 沖縄県サッカー協会 会長 具志堅朗様
(2) 戦評	沖縄県サッカー協会大学サッカー連盟委員長 笹澤様
(3) 結果発表	主催者
(4) 表彰(準優勝・優勝・MVP)	主催者
(5) 招待チームあいさつ	国立台湾体育運動大学 サッカー部監督 趙榮瑞様
(6) 記念撮影	選手・関係者全員

■12日 文化研修■

午前中： 沖縄国際大学サッカー部との練習試合(交流試合)

午後： 文化研修の一環として、スポーツ店舗や観光地の視察を兼ねて「国際通り」・「スポーツ店」・「北谷町アメリカンビレッジ・サンセットビーチ等」へ

【那覇国際空港 歓迎セレモニー】

3月8日(日)「CI120 便 10:55 着」にて、本大会の招聘大学である「国立台湾体育運動大学サッカー部」が那覇国際空港に到着。那覇空港にて歓迎セレモニーを行い、那覇市内にて「沖縄そば」の昼食後、宿泊先である沖縄国際大学内の厚生会館へ移動。その後、宿舎での宿泊等の説明を受けて、「ゼビオ株式会社スーパースポーツゼビオ宜野湾店」へ視察とショッピングに向かった。夕方には、宿舎に戻り明日の大会に向けて軽い調整をグラウンドにて行った。





＜到着後のランチ：沖縄そば＞



＜沖縄ガイドブックを読む学生＞



＜宿泊先（冲国大厚生会館）到着＞



＜宿泊先の布団準備＞



＜日本式の布団を準備する学生＞



＜観光の一環として近隣の商業施設＞



＜スポーツ店訪問＞



＜軽めの練習を実施＞



＜冲国大での夕食＞

◆ 3月9日（月） 交流大会初日

大会初日を迎え、早朝から時より雨も降る中、担当大学の選手たちは元気な声を掛け合いながら設営を行った。本大会のサブテーマでもある「人材教育」の為に、学生が各担当を持って積極的に設営や運営を行う大会初日となった。

開会式には、開会の挨拶として「一般社団法人 沖縄県サッカー協会会長 具志堅様」、歓迎の挨拶として「台北駐日経済文化代表處那覇分處 處長 蘇様」、「沖縄県サッカー協会大学サッカー連盟顧問 島袋様」からご挨拶を頂きました。そして、大会の趣旨にご賛同いただき、ご協賛をいただきました「シンバホールディングス株式会社 会長 安里繁信様」からも、協賛企業を代表し、ご挨拶を頂きました。最後にゲストチームの「国立台湾体育運動大学サッカー部 監督 趙榮瑞様」よりご挨拶をいただき、全員で集合写真を撮影し、大会がスタートした。



＜大会を盛り上げる各種バナー＞



＜大会運営を率先して行う学生＞



＜大学生による設営＞



＜開会式参加の学生たち＞



＜一般社団法人沖縄県サッカー協会 具志堅会長＞



＜台北駐日経済文化代表処那覇分處 蘇所長＞



＜沖縄県サッカー協会 島部顧問＞



＜シンバホールディングス株式会社 安里会長＞



＜国立台湾体育運動大学 趙監督＞



＜開会式ご列席の役員の方々＞



＜全員での集合写真＞



＜昨年優勝の冲国大キャプテンへの取材＞



＜台湾チーム取材（QAB）＞



＜台湾チーム取材（NKH 沖縄）＞



＜県サッカー協会顧問(NHK 沖縄)＞

開会式には琉球朝日放送の取材も入り、盛り上がった開会式となった。開会式後は、前年度優勝チームの冲国大キャプテン及び招聘大学の台湾チームキャプテンに意気込みについて取材が行われた。

また、国立台湾体育運動大学サッカー部の試合には、NHK沖縄放送局の取材も入るなど、多くのメディアにも注目して頂いた大会となった。

< 1 日 目 試合結果 >

第1試合 沖縄国際大学 4 - 0 琉球大学 (前半 2 - 0)

第2試合 国立台湾体育運動大学 4 - 1 名桜大学 (前半 3 - 0)

第3試合 沖縄国際大学 7 - 1 琉球大学 (前半 2 - 1)



<学生が対応する運営本部>



<学生によるマッチミーティング>



<台湾チーム 集合写真>



★台日沖縄学生交流会★

交流会場である、沖縄国際大学敷地内の「5号館208号室」に移動し、台湾と沖縄の学生同士の交流を行った。最初こそ、緊張の面持ちだったが、キャプテンや代表者が各大学のチーム紹介を行うに伴い、和らいだ雰囲気になった。沖縄の各大学が4テーブルごとに分かれ、そこに台湾の大学生が混じっての交流会となった。また、国立台湾体育運動大学に日本から留学している学生2名が通訳役を担って、タドタドしくも一生懸命コミュニケーションをとっていた。その通訳のお陰もあり、面白く楽しく学生が打ち解けて、挨拶が終わった後の食事会では、スマートホンを片手に翻訳機能を使ってコミュニケーションを取る学生や英語や日本語、中国語など国際交流らしく、多くの言語が飛び交っていた。

交流会には、本大会をサポートしていただいている「新垣通商」様から県産品の「もずく」のご提供、「琉鳳堂」様から台湾チームへのお土産の贈呈も行っていました。

食事美味しくいただき、その後は体育会系ならでのノリで、じゃんけん大会や腕相撲対決も行われ、非常に盛り上がった会となりました。

最後には、招聘大学の国立台湾体育運動大学を代表して監督である趙榮瑞様より、ご挨拶をいただき、大会初日を最高の形で終了した。



<琉球大学サッカー部>



<沖縄大学サッカー部+通訳の学生>



<名桜大学サッカー部>



<沖縄国際大学サッカー部>



<台湾体育運動大学の学生>



<会場で聞き入る学生たち>





<国立台湾体育運動大学 趙監督>

<台湾チームへのお土産贈呈式>

<学生交流会での集合写真>

◆ 3月10日（日） 交流大会 2日目

3月の沖縄とは思えないほどの非常に寒い大会2日目となった。朝から、風も強く台湾チームからは「昨年の沖縄では暑くて日焼けしたけど、今年は寒すぎて風邪をひきそうだ」と言う声も聞こえていた。

一方、昨晚の学生交流会を経て、参加した学生たちは打ち解けて非常に良い雰囲気の中での試合となった。天候こそ、寒かったが運営も順調に行われた。

この日は、台湾チームと沖縄大学が1日2試合と言うハードスケジュールとなった。台湾チームは、本大会前にワールドカップ1次予選「チャイニーズタイペイ代表」に7名、同じくオリンピックの「チュイニーズタイペイ代表（U-23）」に9名が選出され、1・2年生の若い選手で沖縄に来ており、選手も21名と少ないこと、そして何

よりもこの寒さの影響もあったのか、昨年準優勝チームが本日2試合目に敗北を喫する展開となった。

大会2日目も無事に終了し、運営担当の学生たちは、大会結果を各メディアへFAXし、新聞社にて結果掲載のサポートを行った。

また、夜には台湾体育運動大学の監督：趙榮瑞氏と沖縄県内各大学の監督・コーチとの交流会も実施され、大変盛り上がり、今後も本大会の継続を誓い合う場となった。

< 2日目 試合結果 >

第1試合 国立台湾体育運動大学 4 - 1 沖縄大学（前半1-0）

第2試合 沖縄国際大学 10 - 2 沖縄大学（前半3-1）

第3試合 国立台湾体育運動大学 1 - 3 琉球大学（前半0-2）

第4試合 沖縄大学 2 - 4 名桜大学（前半0-1）





◆ 3月11日（水） 交流大会3日目（最終日）

3日連続での試合とあって、選手達も疲れが見えてきたが、そこは若さと体力でカバーし、最後の試合をそれぞれのチームが全力を出し切り最終日を終えた。沖縄国際大学が昨年九州リーグ2部から1部に昇格した底力を見せ、今大会堂々の2連覇となった。また、選手たちは各々台湾チームとの対戦の中で、通じるものが何か、足りないものは何かを学んだと思う。本大会最後の試合「琉球大学 vs 名桜大学」は2位争いの激しい戦いとなり、残り15分での逆転劇で琉球大学が勝利し、準優勝を決めた。

本大会の招聘チームである国立台湾体育運動大学は、残念ながら3位となり、来年の雪辱を誓った。試合終了後には閉会式を行い、総評を「一般社団法人 沖縄県サッカー協会 会長 具志堅様」から、そして戦評を同じく「沖縄県サッカー協会大学サッカー連盟委員長 笹澤様」から頂いた。その後、宜野湾市提供の参加賞を配布し、大会の結果発表と同時に贈呈式を行い、優勝・準優勝・MVPの表彰を実施した。

最後に関係者全員にて記念撮影を行い、来年の再開を誓い閉幕となった。

< 3日目 試合結果 >

第1試合 沖縄大学 0 - 2 琉球大学（前半0 - 3）

第2試合 沖縄国際大学 5 - 1 国立台湾体育運動大学（前半2 - 1）

第3試合 名桜大学 1 - 2 琉球大学（前半0 - 1）







＜準優勝チームへの表彰状授与＞

＜優勝チームへの表彰状授与＞

＜MVP：大城達己選手への表彰状授与＞



＜琉球大学+台湾体育運動大学＞

＜台湾チーム記念撮影＞

＜関係者全員による記念撮影＞

【最終順位】 MVP：沖縄国際大学 大城達己選手

順位	勝ち点	得失点差	成績	学校名	沖縄国際大学	琉球大学	国立台湾体育運動大学	名桜大学	沖縄大学
1位	12	+22	4勝	沖縄国際大学		4-0 ○	5-1 ○	10-2 ○	7-1 ○
2位	9	+1	3勝1敗	琉球大学	0-4 ×		3-1 ○	2-1 ○	2-0 ○
3位	6	0	2勝2敗	国立台湾体育運動大学	1-5 ×	1-3 ×		4-1 ○	4-1 ○
4位	3	-8	1勝3敗	名桜大学	2-10 ×	1-2 ×	1-4 ×		4-2 ○
5位	0	-13	4敗	沖縄大学	1-7 ×	0-2 ×	1-4 ×	2-4 ×	

◆ 3月12日（木）午前中：練習試合、午後：文化研修

昨日までの大会を終えホッとした表情を見せるものの、大会での成績も思わしくなかったこともあり、午前中は本大会の優勝チーム沖縄国際大学とのトレーニングマッチを行った。変則の30分×3本となったが、大会を終えた両チームとも若い選手を様々なポジションで試したりと非常に有意義な練習の時間をフレンドリーに過ごした。トレーニングマッチ終了後は、両チーム選手同士で健闘をたたえ合い、記念撮影をし、グラウンドを後にした。

午後は、文化研修の一環でもある視察と観光となり、昨年来沖した選手も新加入して初めて沖縄を訪れる選手も、一緒に「国際通り」へ出向いて日本的な店舗や沖縄独特の店舗を見学、お土産を購入して楽しんでいた。その後、場所をスポーツショップへ移動し、台湾では中々買えないサッカー用品を各選手、笑顔で楽しそうに購入していた。

その後、北谷のアメリカンビレッジに向かい、ビーチではリラックスし、買い物では沖縄県民と話かけ、各々文化を肌で感じ取っていた。夕食は、和食をいただき、日本での滞在最後の夜を堪能していた。

また、この日は、同じ大学OBで「チャイニーズタイペイ代表」に選出されている仲間が、ワールドカップアジア1次予選のブルネイ代表と国際Aマッチを行っていた。食事会場でもスマートフォンで観戦し、盛り上がっていた。その後、食事会場を後にした選手達は宿舎に戻り、最後のミーティング後、荷造りを行って翌日の帰国に備えていた。







◆ 3月13日（金） 送迎セレモニー

あっという間の国際交流期間が終わり、宿泊先である沖縄国際大学からバスで空港に向かおうとすると、ラジオ沖縄のラジオカーが来て、急遽取材を受けることになった。本大会の事情を説明するとラジオカーへの出演が急遽決定。大学を率いる「趙先生」と沖縄から留学している「山内選手」が生出演した。周りの学生も大変興味深く見ていて、非常に良い経験にもなったと思える。

「CI121 便 11:55 発」にて那覇国際空港を後にする為に、空港へ送迎したかが、学生達も名残惜しそうにしていた。そして、今回2回目の大会となったが、来年以降もさらに継続できるよう、お互いに誓いあった。

最後に、台湾の学生たちもすっかり慣れた様子で、また来ます！と言って帰国の途についた。





【メディア】

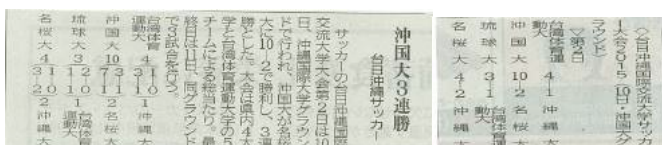
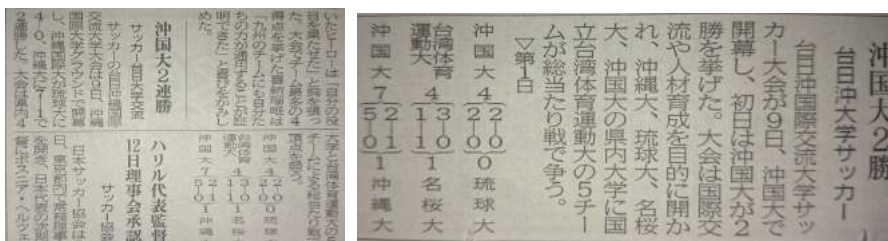
この度、琉球朝日放送様・NHK沖縄放送局様・琉球新報社様・沖縄タイム社様・ラジオ沖縄様に置かれましては、大変お忙しい中、取材にお越しいただきしてありがとうございました。

TV・ラジオの反響もかなり多く、様々な方々からお声掛けをいただいております。また、新聞にも試合結果がスポーツ面に掲載、そして最終日の写真及び記事掲載を頂きまして本当にありがとうございました。

台湾から来ていた学生をはじめ、先生も大変喜んでおり、台湾に新聞をお持ちになっております。今後も、何卒よろしくお願い申し上げます。

《メディア露出》

- ▶琉球朝日放送 3月9日（月） 夕方ニュースにて開会式含めた大会の模様
- ▶NHK沖縄放送局 3月10日（火） 早朝ニュース枠に2回、試合とイタビュー含めた大会の模様
- ▶琉球新報社 3月10日～12日まで試合結果掲載、最終日の写真・記事掲載
- ▶沖縄タイムス社 3月10日～12日まで試合結果掲載、最終日の写真・記事掲載
- ▶ラジオ沖縄 3月13日（金）ラジオカーに生出演



【総括】

2015年3月8日～13日までの6日間、2回目となる【台日沖縄国際交流大学サッカー大会2015】にご協力を頂きました、ご協賛企業様をはじめ、台北駐日経済文化代表處那覇分處、沖縄県、沖縄観光コンベンションビューロー、宜野湾市、宜野湾市教育委員会、宜野湾市商工会、北中城村、その他関係者様、誠にありがとうございました。また、昨年からの大会継続にご賛同頂き、私どもの依頼にも快く引き受けて頂きました一般社団法人沖縄県サッカー協会の皆様、大学サッカー連盟の皆様、当日運営協力をいただきましたサンビスカス沖縄の皆様に感謝申し上げます。お陰様をもちまして、潤滑に本大会を運営することができました。

【台日沖縄国際交流大学サッカー大会2015】に彩られた沖縄国際大学グラウンドは、台湾からの皆さまだけでなく、一般や保護者なども見学に訪れ、非常に国際色豊かな光景になりました。昨年につづき、大学生のカテゴリーで沖縄に他国から招聘しての大会や国際交流が出来た事を大変喜んでおり、何よりも参加した学生達が喜んでくれたことが、嬉しく思います。実際に学生たちも「学生交流会」を通じて、国際交流の大切さや夢を持つ事なども感じてもらったのではないのでしょうか。そして、言葉は通じなくてもサッカーやスポーツなどを通しての交流は本当に楽しいと思い、試合はもちろんですが、共有する時間を持つことが出来たと確信しております。

また、2回目となる本大会ですが、今後を継続していく為にも更なる大学や関係者様との準備期間を設け、新たにご協力いただける方々への展開も広げながら、関係各所の皆さまとの連携を深めて参りたく思っております。

夏には、本大会の参加者を選抜して台湾もしくは中国（広州）への遠征を計画しております。これは、昨年台湾で実施した「台中東アジアサッカー大会2014」で発足した「東アジアサッカー連盟（仮称）」の継続大会として実施する方向で調整しております。また、現時点で確定ではありませんが、昨年の台湾・中国・韓国・マカオ・日本に続いて、香港が来たいとの意思表示もごさいます。日程的にもかなりタイトになり、調整も必要かと思いますが、是非とも前向きに調整し、開催したいと思っておりますので、ご協力の程お願いします。

私達、NPO法人ナインプロモーション沖縄は、サッカーはもちろんスポーツの場を通じて、沖縄の子供達や日本・アジアなどの子供達の夢を育んでいきたいと考えております。そして、これから将来を担う子供達の為にも、地元のスポーツや音楽を愛する団体やクラブ、そして子供だけでなく、大人も含めた出会いの場を提供できるよう、活動をしていきたいと思っております。そして、「ナインプロモーション沖縄」を通じて、沖縄・日本が他国との交流が発展し、各国の文化や芸能、観光・音楽・スポーツなどを通じて国際交流が発展出来るよう、世界各国の平和や幸せの懸け橋になれば幸いです。

最後に、この【台日沖縄国際交流大学サッカー大会2015】の趣旨へのご賛同、ご協力・ご支援を頂きましたことを本当に心から感謝申し上げます。今後、より一層精進して参りますので、末永くご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 ナインプロモーション沖縄

代表理事 宮城 亮